

取扱説明書

ブラケット(一般屋内壁 埋込専用器具)

品番 **HNL80651WT**

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

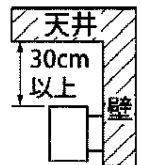
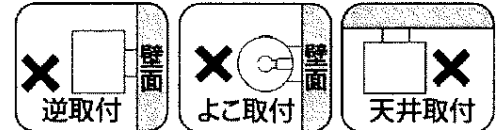
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様へ必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

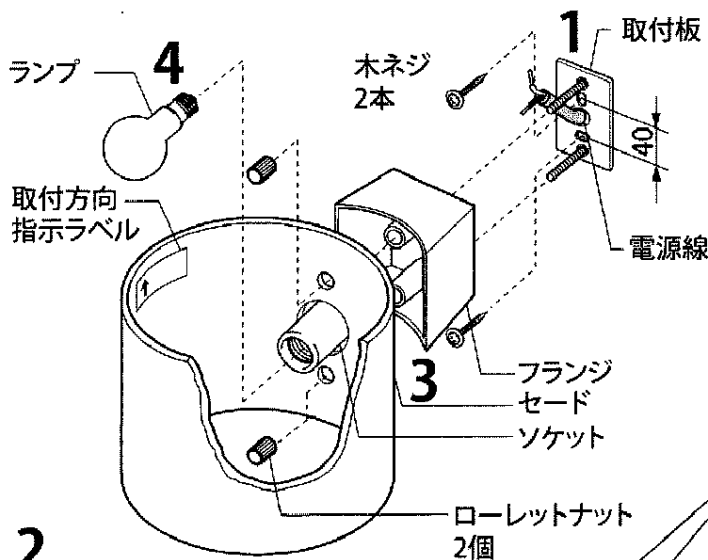
- 施工は、取扱説明書に従い確実に行う。
施工に不備があると落下、感電、火災のおそれがあります。
- 器具を改造したり、部品交換をしない。
落下、感電、火災のおそれがあります。
- 器具表示及び取扱説明書に従い正しい方向に取り付ける。
壁面取付専用器具で、器具取付に方向性があります。
指定方向以外に取り付けると器具落下、感電、火災のおそれがあります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数以外の電源で使用しない。感電、火災のおそれがあります。
- 器具と周囲の壁面、天井面との距離は30cm以上離す。被照射物の火災、変色のおそれがあります。
- アルカリ系洗剤は使用しない。強度低下による破損のおそれがあります。



⚠ 注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下、感電、火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

各部のなまえと取り付け方



取付前の確認

- ・器具質量(0.2 Kg)に十分耐える様、取付部の強度を確保してください。
- ・ランプの梱包用サックを取り外してください。取り外さない場合、火災の原因となります。

1. 取付板を取り付ける

- ・電源線を取付板の電源穴より引き込んでください。
- ・取付板を付属の木ネジ2本で、壁面内の補強材のある位置に取り付けてください。
注) ボックス取り付けはできません。
- ・ベニア板など薄い壁材へは取り付けしないでください。取り付けに不備があると器具落下の原因となります。

2. 電源線を接続する

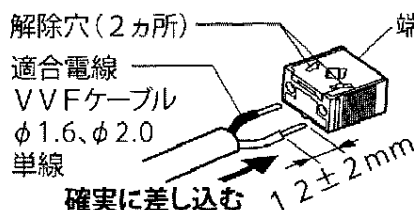
- ・電源線を差し込み穴の奥まで確実に差し込んでください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。

3. セードを取り付ける

- ・フランジとセードを取付板にはめ込みセードをローレットナット2個で取り付けてください。取り付けが不完全な場合、落下の原因となります。

4. ソケットに同梱のランプを取り付ける

- ・ランプを確実に締め付けてください。取り付けに不備があると、火災の原因となります。



電源線の外し方
マイナスドライバー等で解除穴を押しながら電源線を引き抜く

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造したり部品交換をしない。感電、火災、落下のおそれがあります。
- 布や紙など燃えやすいものをかぶせない。火災のおそれがあります。
- 異常を感じた場合電源を切る。異常状態がおさまったことを確認し、販売店、電気工事店にご相談ください。

⚠ 注意

- ランプ交換やお手入れの際には、かならず電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。感電、やけどの原因となります。
 - ランプ交換の際には器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用してください。指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。
 - 照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスはことなるので、使用期間が10年に満たなくても発錆があればすぐに点検、交換を行ってください。また、設置して10年*経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しているので、点検、交換を行ってください。
- ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
- ・周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。※点検せずに長期間使い続けるとまれに落下、感電、火災などに至る場合があります。

保証について

- ・この商品の保証期間は1年間です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

〈保証書について〉

- ・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

お手入れ・ランプ交換

⚠ 注意 (必ず電源を切って行ってください。やけど、感電の原因となります。)

〈器具の清掃について〉

- ・汚れを落とす場合は、石けん水にひたしたやわらかい布を、よく絞ってからふきとり、乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジンでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、変質の原因となります。

〈ランプ交換について〉

- ・ランプ点灯中や消灯直後はランプは高温になっているので素手でさわらないでください。やけどの原因となります。
- ・ランプの種類は、器具に表示しています。間違った種類、W数のランプを使用すると、火災の原因となります。

適合ランプ	おすすめの交換ランプ
ミニクリプトン電球60Wまで	60形ミニクリプトン電球 (ホワイト・110V用・E17)

